

町会報

えひめ

2016
12
Vol.93

発行所／愛媛県町村会・愛媛県町村議会議長会
〒790-0001 松山市一番町4丁目1番地2
TEL089-941-7598(代表)
FAX089-945-1318



Contents

要望しました	2~4
随想 農林水産省研究企画課 保科絢子	5
町の伝統行事	6~7
一筆	8
12月の行事	8
編集後記	8

松前町「松前町ホッケー公園ホッケー場」

平成28年に6月に落成した「松前町ホッケー公園ホッケー場」は、日本ホッケー協会公認の人工芝の競技場です。平成29年に行われる「えひめ国体」では、少年男女の試合が行われることとなっています。ピッチの色は、オリンピックでも使用されている「青色」です。ここから、未来のオリンピック選手が羽ばたいていくのかもしれない。

今年 1 年間こんな要望を行いました

愛媛県町村会では、町の発展や直面する諸問題を解決するため、この 1 年にさまざまな要望を関係者に提出しました。

●聖カタリナ大学看護学科の設置に関する要望

地方の看護師不足が深刻化するこんにち、県内各町でも病院における看護師の確保に苦慮しており、その対応に各自治体は苦慮している。こうした状況にあって、聖カタリナ学園が看護学科を開設し、安定的な看護師を養成しようと聞き及んだ本会では、当該学科が設置されれば県内各町の看護師不足の解消するものと大いに期待し、同学園及び文部科学省に、その設置を強く要望した。

看護学科の設置に関する要望書

時下、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。
平素から愛媛県内自治体の業務各般に格別のご理解とご協力を賜っておりますことに心からお礼申し上げます。
また、貴学園には、大学を開設されて以来30年の永きにわたり、優れた教育・研究を实践され、福祉、介護、保育等の専門職として数多くの人材を輩出されてこられましたことに心から敬意を表します。
さて、こんにち、地方の看護師不足が深刻化し、県内各町でも各病院において看護師の確保に苦慮しており、自治体に対して看護師確保に向けての協力が求められております。
さらに、2025年には団塊の世代が後期高齢者となることから、今後、ますます医療・介護に関する需要が高まると予想され、このためには看護師を中心とした専門職の確保が必要不可欠です。
このような状況下において、今般、貴学園が看護学科を開設し、安定的な看護師を養成しようと検討されていると聞き及びました。愛媛県町村会としては、当該学科が設置されれば、若者の新たな受け皿として更なる活気をもたらすとともに、県内各町の看護師不足の解消に寄与するものと大いに期待しております。
つきましては、貴学園に看護学科が設置されることを切に要望いたしますので、格別のご高配を賜りますようお願い申し上げます。末筆ながら、貴学園のますますのご発展を祈念いたします。
平成28年 1 月29日

愛媛県町村会長 上 村 俊 之

聖カタリナ大学看護学科の設置に関する要望書

時下、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。
平素から愛媛県内自治体の業務各般に格別のご理解とご協力を賜っておりますことに心からお礼申し上げます。
さて、こんにち、地方の看護師不足が深刻化し、愛媛県内の各町でも各病院において看護師の確保に苦慮しており、自治体に対して看護師確保に向けての協力が求められております。
さらに、2025年には団塊の世代が後期高齢者となることから、今後、ますます医療・介護に関する需要が高まると予想され、このためには看護師を中心とした専門職の確保が必要不可欠です。
このような状況下において、本県の聖カタリナ大学においては、看護学科を開設し、安定的な看護師を養成しようと検討されていると聞き及んでおります。
愛媛県町村会としては、当該学科が設置されれば、若者の新たな受け皿として更なる活気をもたらすとともに、県内各町の看護師不足の解消に寄与するものと大いに期待しております。
つきましては、聖カタリナ大学に看護学科が設置されることを切に要望いたしますので、その設置認可にあたり、格別のご高配を賜りますようお願い申し上げます。
平成28年 1 月29日

愛媛県町村会長 上 村 俊 之

●四国への新幹線の導入に向けた要望

全国各地で高速鉄道ネットワークの整備が着々と進む中、「四国新幹線」及び「四国横断新幹線」は依然として基本計画のまま取り残されていることから、四国の新幹線の基本計画から整備計画への格上げに向けて必要な調査を実施するよう愛媛県鉄道高速化促進期成同盟会が中心となり、愛媛県市長会、本会及び経済団体等16団体の代表者が、国土交通省等へ要望を行った。

なお、本会からは佐川副会長が参加した。

四国への新幹線の導入について

昨年 3 月に北陸新幹線の長野～金沢間が、今年 3 月には北海道新幹線の新青森～新函館北斗間が開業するなど、全国各地で高速鉄道ネットワークの整備が着々と進む中、「四国新幹線」及び「四国横断新幹線」は依然として基本計画のまま取り残され、四国だけが新幹線の空白地帯となっております。

しかしながら、平成26年 4 月には、四国の鉄道高速化検討準備会が実施した「四国における鉄道の抜本的高速化に関する基礎調査」において、「地域・経済活性化及び災害に強い鉄道網の形成による安全確保等の観点から、四国におけるフル規格新幹線整備に妥当性がある」との調査結果が公表されているほか、今年 3 月に決定された「四国圏広域地方計画」では、四国の新幹線についての記述が盛り込まれ、鉄道の抜本的高速化が検討課題とされたところです。

愛媛県を含む四国 4 県が一体となり、自立的発展を遂げつつ他の広域ブロックとの連携を強化するため、また、巨大災害に備えて西日本における高速鉄道ネットワークの代替性を確保するためには、四国への新幹線導入が不可欠であり、四国の新幹線の整備計画への格上げに強く期待を寄せているところであります。

新幹線の導入等による抜本的高速化が実現すれば、対本州や四国内のアクセスが飛躍的に向上し、高齢者等の交通弱者も安心して気軽に外出することが可能になるなど利便性が大いに高まるとともに、本県や四国全体のイメージアップにつながり、ビジネス・観光、文化等多様な分野での交流促進に多大な効果が見込まれます。

つきましては、四国の新幹線の基本計画から整備計画への格上げに向けて、必要な調査の実施を要望します。

平成28年 5 月20日

愛媛県鉄道高速化促進期成同盟会長
愛媛県市長会長
愛媛県町村会長
他経済関係13団体

野 志 克 仁
青 野 勝
上 村 俊 之

●平成29年度国の施策等に関する提案・要望

平成29年度政府予算の編成及び政策の決定に当たり、県並びに市町の発展にとって重要不可欠な提案・要望（項目のみ抜粋）を重点施策として取りまとめ、本会及び愛媛県、愛媛県市長会との連名により、国に対し面談により要望を行った。

平成29年度国の施策等に関する提案・要望

愛媛県並びに県内市町の行政の推進につきましては、平素から格別の御高配を賜り、深く感謝申し上げます。

国におかれては、経済再生と財政再建を両立すべく、現役世代の安心も確保する社会保障制度の実現による「介護離職ゼロ」、人口減少問題に立ち向かう「希望出生率一・八」、成長と分配の好循環を創り上げる「戦後最大のGDP六百兆円」といった明確な目標を掲げ、「一億総活躍」に向けて真正面から取り組まれております。

本県においても、自らの未来を自らの創意工夫で切り拓くため、県と市町が連携した「オール愛媛」の体制で共通する政策課題等に取り組んでおり、南海トラフ巨大地震等に備えた「防災・減災対策」に最優先で取り組むとともに、県内への移住・定住の促進や結婚・子育て支援の強化による「人口減少対策」と、産業の担い手育成、農林水産業の体質強化や交流人口増加による「地域経済の活性化」を重点的に推進しているほか、平成29年9月の「えひめ国体・えひめ大会」に向けた開催準備の推進、地域医療・福祉の充実など当面する重要課題への対応を加速させているところであります。

このような中でそれぞれの地域が持つ多種多様な自然、そこに暮らす人の営み、風習や伝統文化を大切にしながら、魅力ある地方を創生していくためには、必要な財源の確保はもとより、地域経済の活性化や防災・減災対策に不可欠な社会資本の整備、地域の実情に即した施策を推進するための各種制度の創設や見直しなど、これまで以上に強力な国の御支援が不可欠であります。

つきましては、本県の現状や課題を踏まえ、県並びに市町の発展にとって重要不可欠な提案・要望項目を重点施策として取りまとめましたので、平成29年度政府予算の編成及び政策の決定に当たり、格別の御理解、御配慮を賜りますようお願い申し上げます。

平成28年5月30日・31日

愛媛県知事	中 村 時 広
愛媛県市長会長	青 野 勝 勝
愛媛県町村会長	上 村 俊 之

《最重点項目》

- 1 地方税財源の充実・強化について
- 2 公共施設等の耐震化等の促進について
 - 〔1〕学校施設の耐震化の促進
 - 〔2〕松山空港の耐震化の促進
 - 〔3〕水道施設の耐震化の促進
 - 〔4〕医療施設の耐震化等の促進
 - 〔5〕住宅の耐震化の促進
 - 〔6〕警察施設の耐震化の促進
- 3 地方創生の実現に向けた実効性のある支援について
- 4 鉄道・バス・フェリー等公共交通機関の維持・活性化対策について
- 5 四国への新幹線の導入について
- 6 四国遍路の世界遺産暫定一覧表への記載について
- 7 防災・減災対策の総合的な推進について
- 8 南海トラフ巨大地震対策の推進について
- 9 伊方発電所の安全対策の強化等について
- 10 原子力防災対策の充実・強化について
- 11 ドクターヘリの運航に対する支援等について
- 12 地域の実情に応じた地域医療介護総合確保基金の見直しについて
- 13 医師確保対策について
- 14 地域中小企業応援ファンド及び農商工連携型地域中小企業応援ファンドの継続について
- 15 東京オリンピック・パラリンピックを契機とした外国人観光客の地方への誘客促進について
- 16 炭素繊維等高機能素材を活用した産業創出への支援について
- 17 農林水産物の輸出促進及び国際競争力強化について
- 18 強いえひめ農業を支える「国道道前道後用水地区」をはじめとする基盤整備の推進について
- 19 果樹経営支援対策の充実・強化について
- 20 C L T製造拠点整備と公共建築物等への普及について
- 21 森林認証制度の普及促進について
- 22 地域安全・安心のための社会資本整備の促進について
 - 〔1〕防災・減災対策の推進
 - 〔2〕戦略的な維持管理・更新の推進
- 23 高規格幹線道路等の整備促進について
 - 〔1〕高速道路ネットワークの「3つのミッシングリンク」の早期解消
 - 〔2〕愛媛つなぐえひめ国体及び地方創生を見据えた高速道路ネットワークの整備・利便性等の向上
- 24 離島架橋事業（岩城橋）の推進について
- 25 J R松山駅付近連続立体交差事業等の整備促進について
- 26 肱川の安全安心の確保と清流の復活について
- 27 東予港、松山港など主要港湾の整備促進について
- 28 えひめ国体・えひめ大会の開催に向けた支援について
- 29 愛媛大学の地域産業イノベーションを創出する機能の強化に関する支援について
 - 〔1〕新規養殖マグロ類「スマ」の次世代型育種システムの確立と社会実装
 - 〔2〕セルロースナノファイバーの実用化に向けた産学官連携拠点の構築

《重点項目》

- 30 地方分権改革の推進について
- 31 高等学校等就学支援金の加算の拡充等について
- 32 新たな情報セキュリティ対策の抜本的強化に対する支援制度の創設について
- 33 松山空港の進入管制空域の返還について
- 34 松山空港のCIQ体制の充実・強化について

- 35 女性活躍を推進する取組の充実・強化について
- 36 地方消費者行政の充実・強化について
- 37 低炭素社会の実現に向けた対策の支援について
- 38 介護の質を適切に評価した介護報酬の見直しについて
- 39 電力需給安定化及び電気料金の値上げの影響緩和対策等の実施について
- 40 新エネルギーの導入促進などエネルギーのベストミックスの実現について
- 41 エネルギー対策特別会計関連交付金の充実強化について
- 42 南海トラフ地震に対応した海岸保全施設の整備促進について
- 43 主伐・再造林対策等の森林整備の推進について
- 44 漁業における担い手確保対策の強化について
- 45 畜産農家の経営安定対策の強化について
- 46 地域の実情に応じた農地の集積・集約化について
- 47 鳥獣被害防止対策の強化について
- 48 地域の強みを生かす水田農業支援施策の充実・強化について
- 49 山地災害対策に係る木製ダム整備の推進について
- 50 中山間地域等直接支払制度の充実・強化について
- 51 高速道路料金の新制度の導入及び瀬戸内しまなみ海道自転車通行料金の恒久的な無料化について
- 52 土砂災害対策の推進について
- 53 治水事業の着実な推進について
- 54 公立学校施設整備事業における予算単価の引上げについて
- 55 警察基盤の強化について

●愛媛県内自治体の医師確保対策等の推進に関する要望

こんにちは、地方の医師不足や医師偏在が顕著となっており、県内の自治体は安全で安心できる医師の確保に苦慮している。とくに愛媛県は、四国山地の中山間地や島嶼部が多く散在し、限界集落など過疎地域が多く、医師不足は集落の存続にも関わっている。そこで、本会では、県内自治体の医師不足を解消し、住民が適切な医療を享受できるような医療提供体制を確保するため、関東県人会のお力添えを願いたいと要望した。

愛媛県内自治体の医師確保対策等の推進に関する要望書

時下、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。
平素から愛媛県内自治体の業務各般に格別のご理解とご協力を賜っておりますことに心からお礼申し上げます。
さて、関東愛媛県人会は、東京を中心とする関東エリアに住む愛媛県人にとって、なくてはならない組織であり、今後ともふるさと愛媛と関東をつなぐ架け橋としてご活躍いただきますようお願い申し上げます。
ところで、こんにちは、地方の医師不足や医師偏在が顕著となっており、県内自治体では安全で安心できる医療の確保に苦慮しております。
とくに、ご承知のように本県は、四国山地の中山間地や島嶼部が多数散在し、限界集落をはじめとする過疎地域の多いことが特徴で、無医地区ではさらに人口が減少し、医師不足は集落の存続にも深く関わっています。
こうした状況にあって、医師不足等を解消し、地域における医療提供体制を確保することが喫緊の課題となっており、愛媛県町村会では、県下9町の総意として、この問題に懸命に取り組んでいるところです。
つきましては、県内自治体の医師不足を解消し、地方における医師確保をはじめ、住民が適切な医療を享受できるよう医療提供体制を確保するため、医療制度に造詣と経験の深い貴会にお力添えを願いたく、格別のご高配を賜りますようお願い申し上げます。
末筆ながら、関東愛媛県人会のますますのご発展を祈念いたします。
平成28年7月7日

愛媛県町村会長 上 村 俊 之

●「愛媛地方税滞納整理機構」への支援に関する要望

この要望は、「愛媛地方税滞納整理機構」に対する補助金、県職員の派遣について、引き続き県・市町が連携して、市町税・個人県民税等の徴収率向上に万全を期さなければならない。

そこで、同機構を安定して運営するためには、県からの補助金及び管理職員の派遣は欠かせないことから、本会及び県市長会との連名により、県知事等に対し面談等により要望を行った。

「愛媛地方税滞納整理機構」への支援に関する要望書

時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。
平素は、県内の地方自治の振興発展に格別のご尽力を賜っておりますことを心から厚くお礼申し上げます。
さて、愛媛地方税滞納整理機構は、県内全市町で構成する一部事務組合として、平成18年4月1日に設立されました。
以来、今日まで県ご当局の積極的な支援等によって市町税・個人県民税等の徴収に多大の成果を上げており、とくに機構設立後の効果額としては過去10年間で28億5千5百万円余に及ぶとともに、完納件数、完納率及び徴収率ともに高い水準で順調に推移するなど、税の公平性の確保と財政難に苦慮する県内市町の財政健全化に大きく寄与しております。
しかしながら、依然として市町税・個人県民税等の滞納額は多額であり、この解消を図るとともに、納税環境を整備するためには機構の存続が不可欠であります。
つきましては、引き続き県と市町が連携して徴収率の向上に万全を期すため、次年度以降も県の補助金及び管理職員の派遣についてご支援くださいますよう、愛媛県市長会、愛媛県町村会の総意により強く要望します。
平成28年11月10日

愛媛県市長会長 青 野 勝
愛媛県町村会長 上 村 俊 之

随 想

「伊方町での農村研修を終えて」

農林水産省 農林水産技術会議事務局

研究企画課 保 科 絢 子



農林水産省では、入省2年目の職員を対象に、一ヶ月間農家に住み込みで、農業を実際に体験する研修を行っています。私は平成28年10月3日から11月1日までの間、愛媛県西宇和郡伊方町にある、柑橘の生産・販売を行う「農業生産法人 株式会社ニューズ」で研修を受けさせていただきました。私は大学時代まで東北地方で過ごしており、柑橘の生産現場を目にしたことがなかったため、どのような現場で柑橘が生産されているのか、実際に作業して経験できるとも貴重な機会でした。

研修先として受け入れていただいた株式会社ニューズは、一年を通して柑橘の栽培を行っており、生産から出荷・販売まで一貫して行っています。耕作面積は15haと広大で、温州みかんやいよかん、ぼんかんなどを始め、多くの種類の柑橘が栽培されています。青果物の販売のほか、園地で収

穫された柑橘を原料としたジュースやゼリー、シャーベットなどの加工品も販売しています。また、従業員の平均年齢は約29歳と、男女問わず若い世代が多く活躍している会社です。また、柑橘の輸出にも取り組んでおり、3年前に台湾に現地法人「台湾愛媛柑仔有限公司」を設立しています。

研修では主に極早生みかんの収穫を行い、その他に、果実を寒さから守るためのサンテかけや、ハウスのビニール張りなどの作業をしました。園地は、斜面に作られた段々畑になっています。園地によってはかなりの急斜面でみかんが栽培されており、足場を確保するだけでも精一杯でした。同時に、みかんに傷がつかないように、収穫の際に軸が残らな



運んでいきますが、20kgもの重さのコンテナをモノトラックまで運ぶのも、この斜面ではかなりの重労働だろうと感じました。こうして作業をするには大変な環境ではありましたが、園地からは佐田岬半島や宇和海に浮かぶ島々を望むことができ、みかん畑と併せて見られる景色は本当に美しく、いつまでも残したい風景だと感じました。

また、研修期間中には、伊方町の行事にも参加することができました。10月15、16日に行われた秋まつりでは、唐獅子や五つ鹿などの各地区の練りが各家庭を一軒ずつ周り、家内安全などを祈願します。このまつりには、みかんの生産がピークを迎える時期を前に、繁忙期を乗り越え無事にお正月を迎えられますように、という願いも込められているそうです。世代を問わず伝統が受け継がれている様子に感銘を受けましたが、練りの踊り手となる人々が減少しているという話も聞きました。伝統を守っていくためには、地域の人々が昔からの思いを絶やさないよう、協力していかなければならないのだと感じました。

研修では、柑橘生産を通してこの地域の人々は繋がっているのだというのを感じました。地域に伝わる伝統も、美しく広がる風景も、柑橘生産とともにあるものであり、農業が地域に果たす役割の大きさを実感しました。この研修で学んだことを糧とし、今後に活かしてまいりたいと思います。最後に、研修に際してお世話になった多くの方々に感謝申し上げます。

各町の伝統行事！

内 子 町

いかざき大風合戦

●場所／内子町五十崎 豊秋河原

●実施時期／5月5日（雨天時は延期）

【概要】

いかざき大風合戦は約400年の歴史を持つ、内子町最大の伝統行事です。小田川をはさんで、約500統の大風が空中に舞い上がる様子に見物客は大喜び！風に仕込んだ「ガカリ」と呼ばれる刃物で相手の糸を切りあう勇壮な戦いが繰り広げられます。毎年5月5日に行われるこの行事は県無形民俗文化財に指定されています。



内子笹まつり

●場所／内子町内子 本町商店街

●実施時期／8月6・7日

【概要】

約70本の笹飾りが約1キロメートルの商店街を彩る夏の恒例行事。「抱え以上もあるくす玉や、わっか、吹き流しが装飾された笹飾りは訪れた人々に華やかな雰囲気を与えてくれます。開催される2日間は歩行者天国となり、祭りの2日目の夜は「笹踊りコンクール」が行われ、豪華な笹飾りの下を練り歩き、お祭りを盛り上げます。他にも相撲大会や町並み撮影会など多彩なイベントを開催。「愛媛のまつり五十選」に選ばれ、毎年約2万人の人出で賑わいます。



小田燈籠まつり

●場所／内子町寺村 寺村商店街付近

●実施時期／7月30日

【概要】

寺村山の神火祭りは六角山の下に幻想的に浮かび上がる「山ノ神」の火文字と「オヒカリ」と呼ばれる約5000の灯りが灯されます。文政6年（1823年）から続く伝統行事で、山の幸と秋の豊作を祈る想いが込められています。山里に轟く打ち上げ花火は夜空を美しく彩り、夏の思い出を作ってくれます。商店街には数多くの夜店が軒を連ね、喜鼓里太鼓、ライブ演奏などで賑わっています。フォトコンテストも開催されるので、気軽に応募してみてください。



各町の伝統行事！

伊 方 町

きなはいや伊方まつり

●場所／伊方町湊浦

●実施時期／7月31日(日)

【概要】

毎年恒例となっている町内最大のイベント。地元の特産品などを販売するきなはいや市場や子どもすもう伊方場所、キャラクターショー、活魚のつかみどり、伊方おどりなど多彩な催しが行われ、イベントラストには約5000発の花火が打ち上げられる。



佐田岬マラソン大会

●場所／瀬戸中学校出発

●実施時期／11月13日(日)

【概要】

日本で一番細くて長い佐田岬半島を走るマラソンイベント。半島の宇和海側がコースでアップダウンが多く、厳しいが、宇和海を一望でき遠く九州も見渡せる風光明媚なロケーションを楽しめる。出発地点の瀬戸中学校では、ちりめん井や伊勢えびのお味噌汁、柑橘など地元特産品などを販売している。

【コース】
ハーフマラソン(21.097km)
クォーターマラソン(10.548km)
デシマラソン(4.219km)



佐田岬半島の初盆行事

●場所／伊方町内

●実施時期／8月13～15日頃

【概要】

伊方町内の多彩なお盆の行事は、「佐田岬半島の初盆行事」という名称で国の「記録作成等の措置を講ずべき無形の民俗文化財」に選択されており、一部の行事は映像記録が作成されている。

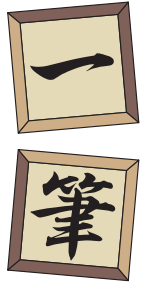
九町地区の盆踊り「きそん(節)」(町指定無形民俗文化財)や、瀬戸地域(大江川之浜、大久の「おしよる舟」、川之浜地区の「なつぽいど」、松地区の「モウナ」などがある。



▲おしよる舟



モウナ(松)▶



この一年の時

毎年のことながら、師走も月末になると大方の人が過ぎ行く時間の早さを感じる。また、一生の中で長・短感じるこの一年と云う時間帯。各人には、良し悪しにつけ運命のさだめから逃れる術もなくいろんな出来事があった。翻弄されずともその一年の時が過ぎようとしている。

現代は、国・地域、民族、宗教らに関係なく全てのものが、グローバルである。観点に異論はあろうけれども、特に生活基盤である経済の成否は、国民(人々)の貧困か富裕かに直接関わるものとなる。その支柱は、政治の安定にはかならない。

この一年、諸外国では先の見えな地域の内戦・紛争、難民、貧富格差の増大など歯止めのかからない問題は極めて深刻となった。また、英国のEU離脱。欧州における一連のテロ発生と難民流入。クリミヤに係るロシアと欧州の関係。中東地域の内戦・紛争、アフリカ内の民族地域紛争。赤い舌に係る国際仲裁裁定への『紙屑』反論。アメリカの次期大統領選挙。韓国大統領の弾劾裁判。核兵器に猛進のような北朝鮮の行動等々枚挙に遑がない展開の一年。ただ一時ではあるが世界が一つになった祭典、リオのオリンピック、パリリンピックもドーピング事件が燃つ

た。これら世界の一連の出来事は、何れも来年に引き継がれて行く。

国民性もあろうが、わが国はこの一年どうであったろう?。長寿の慶びをかみしめつつ、超少子・超高齢化社会に未来予測の不安を感じる。さらに地震はじめ自然災害の脅威。経済の不安定はグローバルの中にあり、時下は円安・株高にあるが、来年以降さらにいろんな新要素が入り混じるであろう。『神っている』は通用しない厳しい現実が待っている。

今年、唯一の不交付団体であり、地方自治体のリーダー的存在の首都は、『せこい』から都民ファーストとして大きな動き、社会の話題を独り占め?した。また社会は、猟奇事件、ストーカーに係る事件、常識・倫理離れの事件が多発の年でもあった。方や拉致問題は、40年経とうとしているが未だ解決の糸口も見えない。来年は、拉致事件解決のため「ポケモンGO」に熱中するくらい国民皆が一体となり、あらゆる手立てを行使するよう新手法展開を関係者にも臨みたい。

さて、新年度予算編成であるが、何をおいても未来社会の安定構築のため、まず「貧富の格差」増大による「教育格差」が起らないような未然の対処を臨みたい。今、かつての我が国の発展を本として来たシンガポールの「人材こそ資源」「教育立国」、これからは、我が国が逆に手本として実践すべき時であろう。

「人間は、重要な事を決して充分じっくり考えない」
(ゲーテ ドイツの詩人)

12月の会と催し

▽1日 全国町村会政務調査会行政委員会

▽6日 全国町村会政調幹事会・都道府県町村会事務局長会議、災害

共済事務連絡会議、四国一周サイクリング情報発信事業委託企画提案型プロポーザル審査会

▽9日 共済基準額見直しに係る説明会、第36回障がい者福祉推進愛媛県大会

▽11日 愛媛県市町総合事務組合新規採用職員第2次選考試験、愛媛県町村会第2回正副会長会、職員採用面接試験

▽12日 中国・四国地区退職手当組合事務連絡会

▽13日 第2回愛媛県ドクターヘリ運航調整委員会、平成28年度「固定資産税家屋(非木造)評価実務研修会」

▽14日 四国四県町村会事務連絡会議

▽15日 愛媛県自転車新文化推進フォーラム

▽16日 自治会館共同管理組合打合会

▽19日 愛媛県市町総合事務組合議会臨時会

▽22日 愛媛県市町総合事務組合及び愛媛県市町振興協会業務

▽24日 白石元会長の旭日小綬賞受賞に対する祝賀会ならびに退任町長の慰労会

編集後記

年の瀬を迎え、本号では、この1年の愛媛県町村会の要望活動を振り返ってみました。こうしてまとめてみると、どの要望も重要なものです。来年も引き続き町の振興・発展に繋がる要望運動を積極的に展開していかなばと思っています。

上の一筆にあるように、今年もいろんな出来事がありました。暗い話題が多い中で、なんといいてもリオのオリンピックでの日本勢の大活躍は、明るい話題として特筆すべきですね。わけても個人的に最も興奮したのが男子4000メートル。一人ひとりのタイムではメダルのに及ばないレースを、バトンパスの妙で銀メダルを獲得したことに、知恵と工夫と努力の大切さを感じました。

来年は、「えひめ国体」が開催されます。県内各地の受け入れ準備がいま最終段階に入ってきていると思います。本号の巻頭の写真は、ホッケーの種目を受け入れた松前町の「松前町ホッケー公園ホッケー場」です。鮮やかなピッチの色ブルーが映えていますね。愛媛県選手の活躍に期待が膨らみます。

平成28年が、もうすぐ終わります。僕は毎年、年賀状にこう書いています。「昔も今もこれからも、周りの人が頼りです」。独りではなにもできません。明年も、よろしくお願い申し上げます。

みなさん、どうぞ良いお年を!